

Lecture 授業No.97 教科書P.156～

T.Q.「国民議会成立の背景とは？」

向出 研司：石川県立寺井高等学校
地歴公民科教諭

直前予習 T. A. キーワード確認

教科書 P.156

T.Q. 「国民議会成立の背景とは？」

1. イギリス
2. ネットケル
3. 三部会
4. 憲法制定
5. テニスコート
6. バスティーユ牢獄

クリックで全て

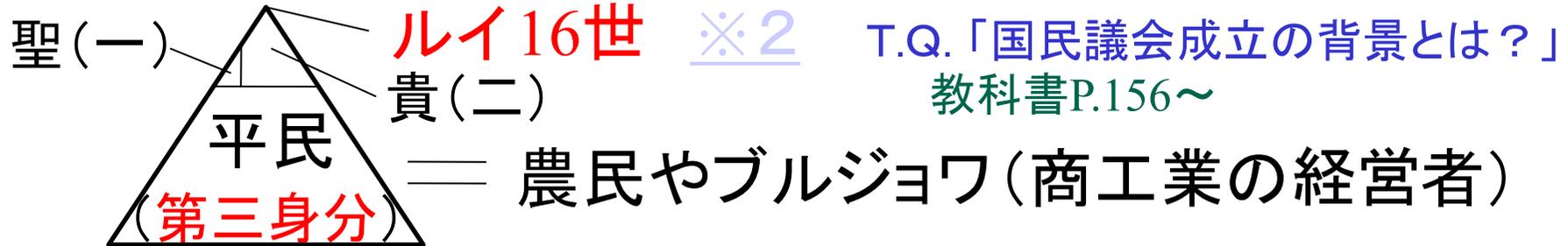


今日の授業ラインナップ。

1. 旧制度（アンシャン＝レジーム）の動揺
2. 三部会の混乱と国民議会の分立
3. バステューユ牢獄の占領で、フランス革命が始まる

3 仏 revo. とナポレオン

cf. 旧制度 (アンシャン=レジーム) ※1



→ 動揺 ∴ { 啓蒙思想がサロンで世論に ※3
米の独立

① 原因

(1) 特権身分(一と二)への課税案=A
...財務長官ネッケルによる財政立て直し
∴ 米独立支援の戦費で財政難

(2) 三部会 (1615 以来の1789. 5月)を開く
...Aをつぶし王権を制限するために貴族が要求 ※4
→ 平民と自由主義の聖・貴が国民議会を分立

cf. 「球戯(きゅうぎ)場の誓い」 ※5

→平民と自由主義の聖・貴が**国民議会**を分立

cf. 「**球戯場の誓い**」

——— ここから

T.Q. 「国民議会成立の背景とは？」

教科書P.156～

② 立憲王政へ

(1) 1789. 7月14日、フランス**革命**スタート ∴ネッケル罷免と凶作

…**バスティーユ 牢獄占領**。パリ民衆が中心 ※6

(2) 国民議会の政策 「サン＝キュロット」 ※7

1 **封建的特権の廃止**

…身分的負担と十分の一税は無償で廃止

but 貢租(地代)は有償 ∴不十分

2 **人権宣言**の採択(**ラ＝ファイエット**)

…自由・平等、国民主権、私有財産の不可侵 ※8

(3) **ヴェルサイユ行進**…王一家をパリに連行 ※9

…〔王が(2)の1・2を拒否

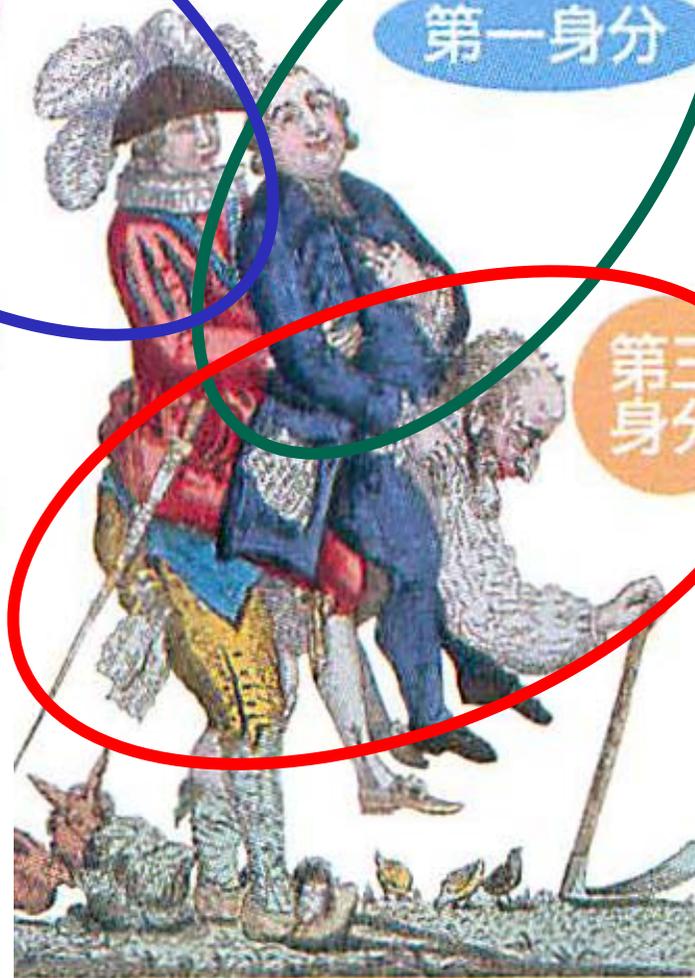
・パリのインフレ(物価高)

※T. A. まとめスライドへ

最後のスライドはここまで！

特権

- 第二身分
- 所有地：全国の30～40%
- 年金：国庫収入の50%
- 高位・高官の独占
- 免税特権



↑ 革命前の風刺画 貴族や聖職者は重税を負担する農民の犠牲のうえにぜいたくな生活を送った。

- クリック①：第一身分の聖職者
- クリック②：第二身分の貴族
- クリック③：第三身分の平民

※2



↑ **ルイ16世** 政治的能力に乏しく、ヴァレンヌ逃亡事件で国民の信頼を失った。

クリックで、
王妃マリ=アントワネット
と「**外交革命**」



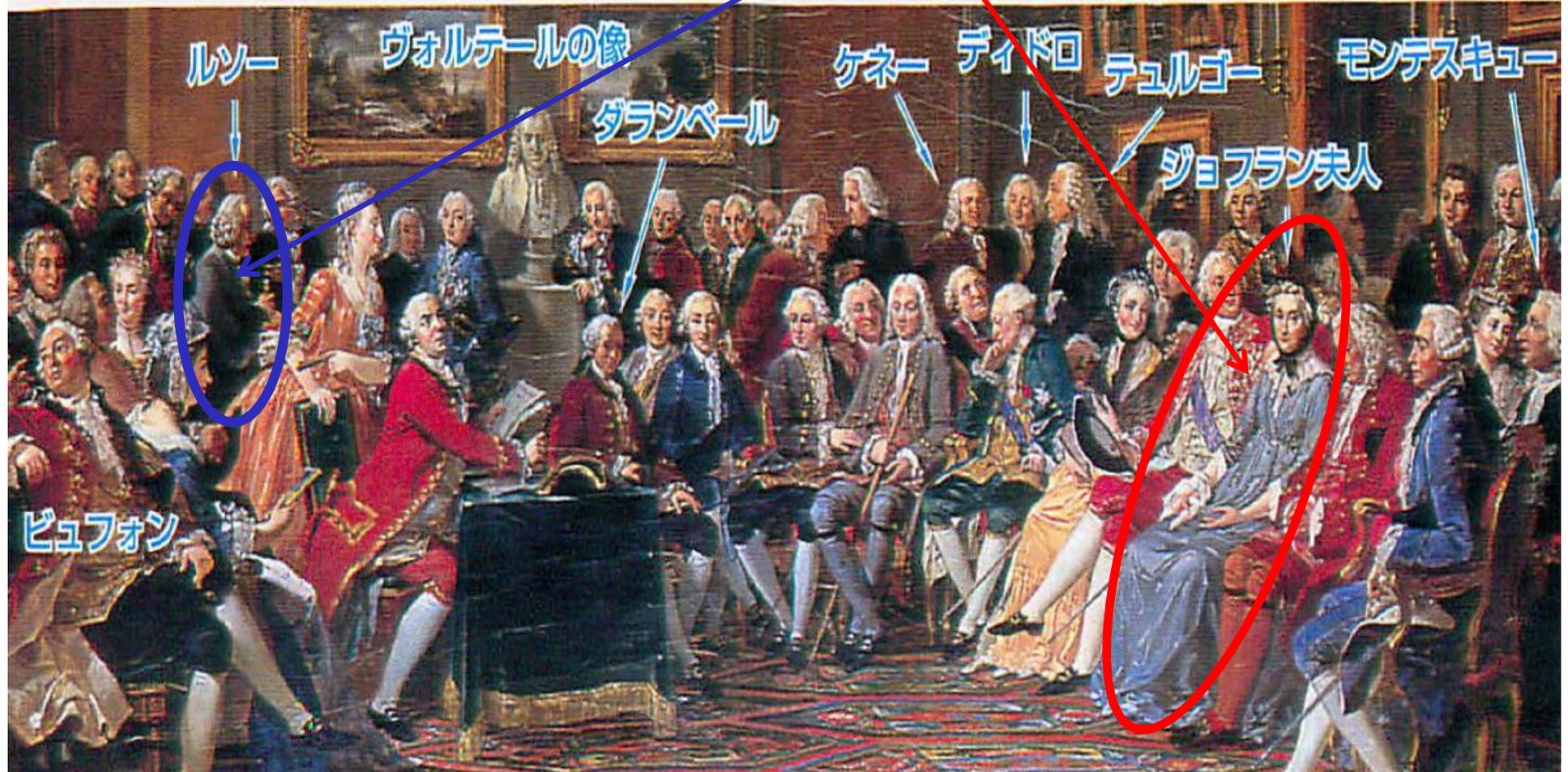
↑ **マリ=アントワネット** オーストリアのマリア=テレジアの末娘で、フランスとの関係改善のため、15歳でのちのフランス王ルイ16世の妃となった。

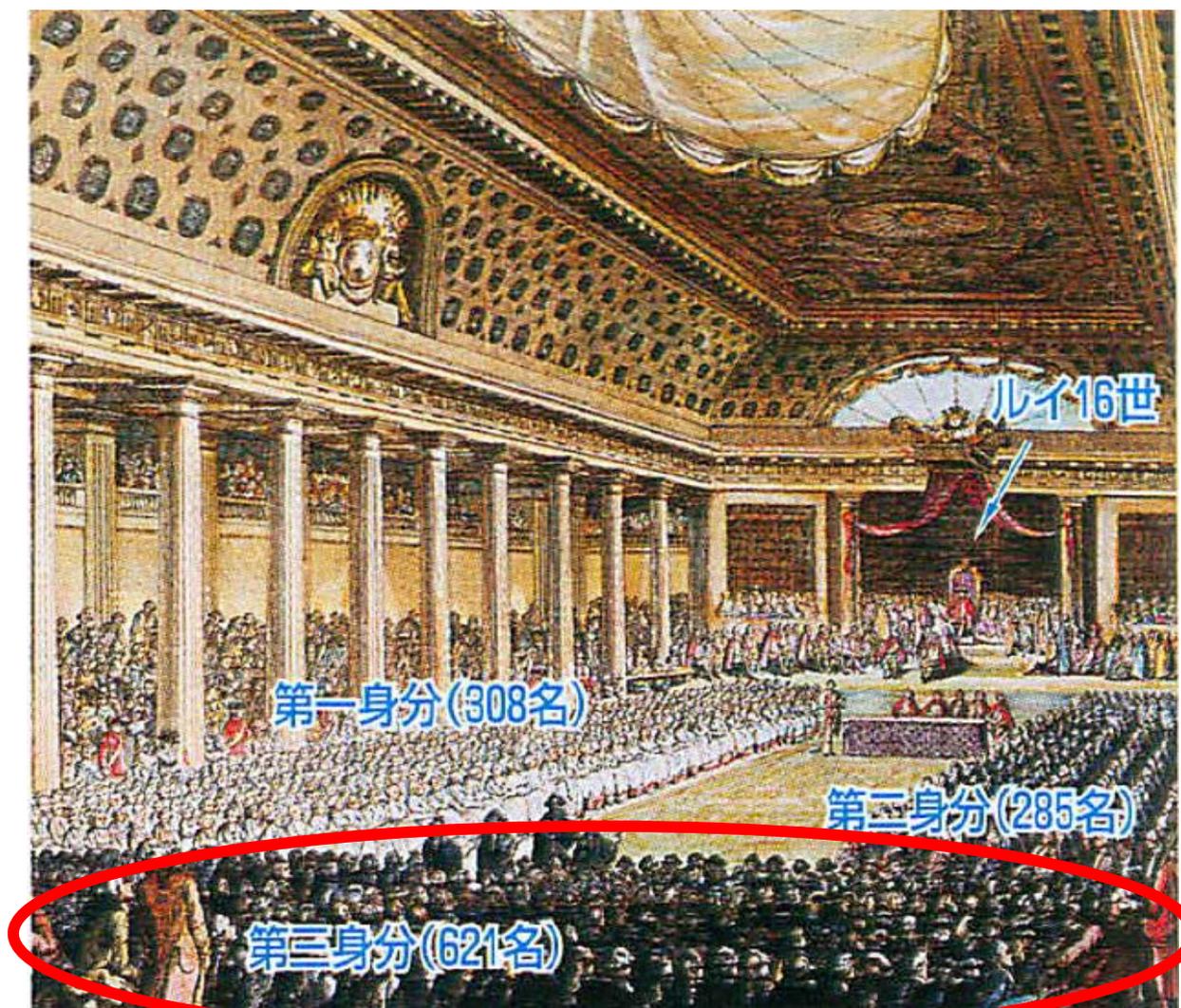
クリック①: サロンの女性主人、**ジョフラン夫人** クリック②: **ルソー** ※3

サロン文化と啓蒙思想

18世紀のフランスでは、パリを中心に貴族やブルジョワの女性達がサロン(応接間の意)を開いた。そこで知識人が情報を交換し、啓蒙思想家が自由な討論を行い、カフェとともにフランス革命の思想を育てた。

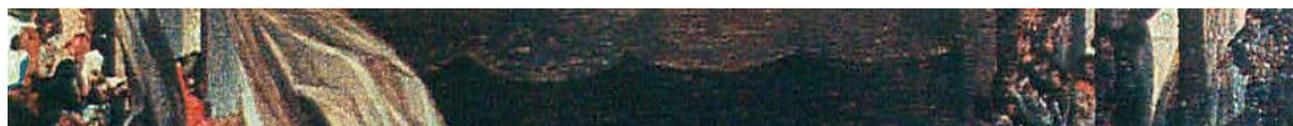
📍**ジョフラン夫人のサロン** 俳優がヴォルテールの『中国の孤児』を朗読する場面。 ルモニエ画
ルーアン美術館蔵





クリックで、
第三身分の平民
(621名)

↑ **三部会の開会式** (1789.5.5) きわめて整然とした儀式的雰
囲気を伝えているが、開会後は従来の身分別議決を主張する
特権身分と一人一票を求める第三身分が激しく対立した。

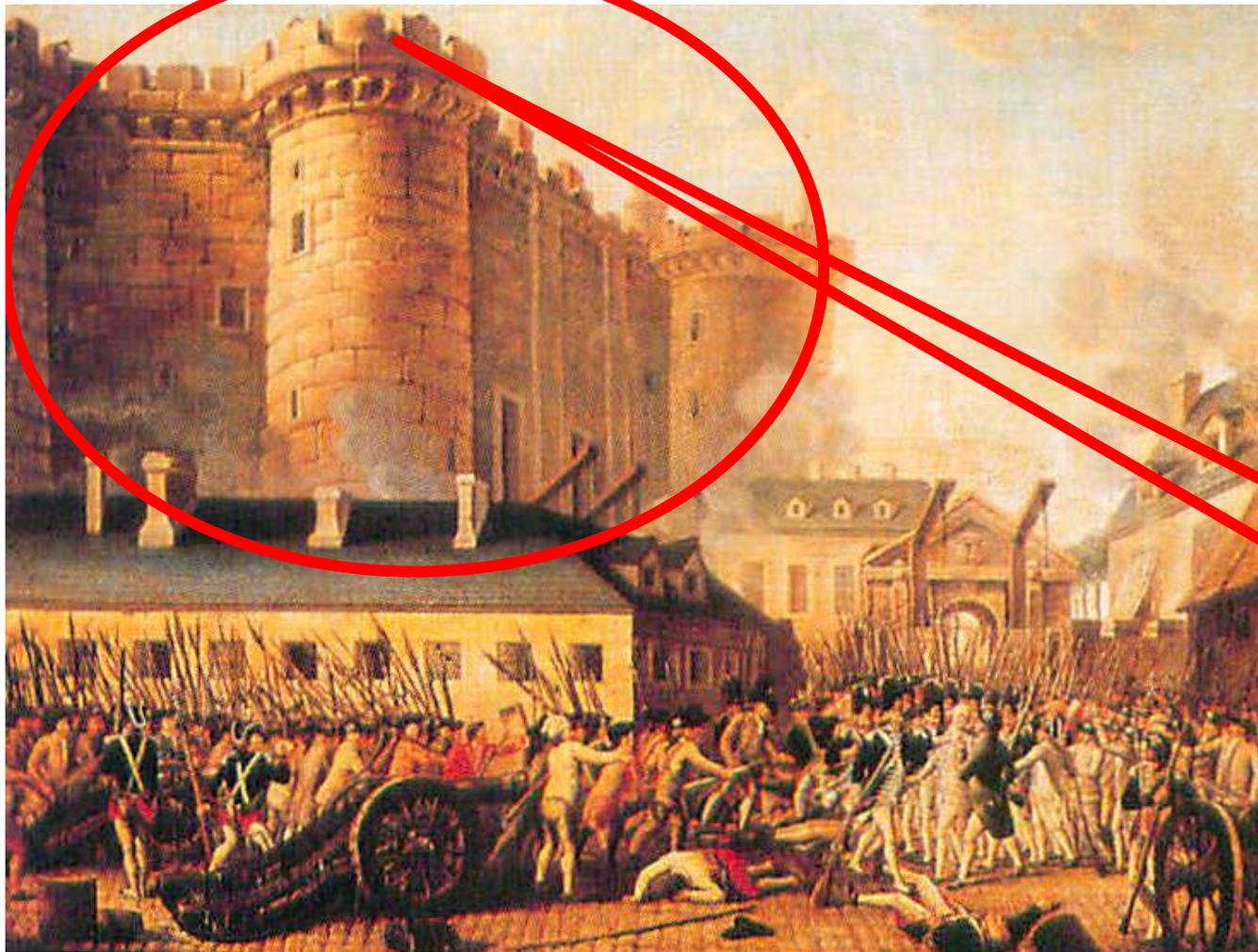


↑ **球戯場の誓い**(1789.6.20) 議場を閉鎖された第三身分の代表たちは屋内球戯場に移り、**憲法制定まで国民議会を解散しないことを誓い合った**。ダヴィド筆、カルナヴァレ美術館蔵

※6

クリックで、
「フランス絶対王政の
象徴」と見なされた
バスティーユ牢獄

(民衆に向けられた
大砲にも注目！)



バスティーユ^{ろうごくしゅうげき}牢獄襲撃(1789.7.14) 財務
総監ネッケルの^{ひめん}罷免に対し、パリの民衆は絶対
王政のシンボルとみなされていた牢獄を襲撃し
た。この日は革命記念日となった。



※7

サン=キュロット(長ズボン)が第三身分のファッション

クリック①: キュロットズボン(貴族のファッション)

クリック②: キュロットスカート(女性のファッション)





フランス人権宣言(1789年)

第1条 人は、自由かつ権利において平等なものとして出生し、かつ生存する。

第3条 あらゆる主権の原理は、本質的に国民に存する。

第17条 所有権は、一の神聖で不可侵の権利である……。

↑解説 ラ＝ファイエツ

トの起草した「人権宣言」(人間および市民の権利の宣言)は1789年8月26日、憲法制定(国民)議会で採択。宣言では、自由で平等な個人の結合に基づく国民と国民国家の創出がめざされた。

⇒人権宣言の扉絵

クリック①: **ロックやルソーの社会契約説**

クリック②: **ブルジョワ(商工業の経営者)の利害に配慮**





クリックで、
パンの値上がりに
激怒したパリの
主婦(おかみさん)達

ヴェルサイユ行進(1789.10.5)

Lecture 授業No.97

T.Q.「国民議会成立の背景とは？」

アメリカ独立戦争の多額の戦費で財政が破綻した為、ルイ16世は財務総監に重商主義の経済学者テュルゴーや平民出身で銀行家のネッケルを抜擢し、彼らが第一・第二身分に課税しようとしたので貴族は174年振りに三部会の開催を要求し改革をつぶそうとしたが、ヴォルテールらを代表とする啓蒙主義に影響された自由主義の貴族・聖職者がリーダーとなり第三身分は国民議会を分立させた。